

平成28年度第1回（第11期第11回）小平市廃棄物減量等推進審議会
会 議 次 第

平成28年4月20日（水） 午後2時00分～ 健康センター第2～第4会議室

- 1 開会

- 2 議事
（1）答申について

- 3 事務局報告

- 4 答申

- 5 その他

- 6 閉会

配付資料

- 資料1 「小平市一般廃棄物処理基本計画に定める重点施策の実現について」（答申案）
- 資料2 答申案（修正版）
- 資料3（参考資料1） 事務局からの報告事項（メモ）

会長	<p>ただいまから、第11回の審議会を開催いたします。 本日は、板羽委員、肥沼委員、島田委員、山田委員、計4名からご欠席の連絡をいただいております。 会議の開催に当たりまして、岡村環境部長からご挨拶をいただきます。</p>
環境部長	<p>本日はご出席いただきありがとうございます。 はじめに、熊本・大分地方で発生した地震によって亡くなられた方々に、心よりお悔やみを申し上げます。また、被災された方々にお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を祈念したいと思います。小平市では、本日、義援金や支援物資を発送いたしました。 小平市の廃棄物行政の現況については、大変厳しい状態だと捉えています。老朽化した施設の更新、新しい資源物処理施設の整備、有料化や戸別収集の開始など、様々な問題を抱えています。これらの解決のために、みなさまからいただいたご意見を出来るだけ進めていけるように考えています。</p>
会長	<p>事務局の人事異動について、報告をお願いします。</p>
事務局	<p>4月1日付の人事異動で、資源循環課では2名の異動がありました。課長補佐兼管理担当係長の谷川が異動になり、後任に足立課長補佐が参りました。谷川については、4月1日付で小平・村山・大和衛生組合に派遣となりました。管理担当の松岡主任については、道路課に異動となり、今回、後任の配置はなしということとなりました。</p>
会長	<p>続いて、事務局から配付資料の確認をお願いします。 ＊＊＊＊＊配付資料確認 ＊＊＊＊＊</p>
会長	<p>本日の会議の進行について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>本日は、市長に答申を行いますので、前半につきましては、議事の答申について行い、その後、事務局報告とさせていただきます。 答申につきましては、資料2の修正版に基づき、確認をしていただき、答申書の準備を行います。 前半につきましては、2時40分ごろを目安に、終了させていただければと存じます。 その後、いったん休憩をはさみまして、午後3時に市長が参りますので、会長から、答申書を渡していただく手交式を行います。 答申後、市長からご挨拶をいただき、引き続き、委員のみなさまと懇談を行う予定です。</p>
会長	<p>それでは、次第の「2 議事」に移ります。</p>
事務局	<p>事務局から説明をお願いします。</p> <p>前回の会議でのご意見などを踏まえまして、会長、副委員長と調整しました答申案を事前に配付いたしました。一部修正がありましたので、改めて本日、配付させていただきました。変更内容について、説明させていただきます。</p> <p>1点目として、漢字で記載していましたが、「等」の文字を、ひらがなで、「など」に文言の統一をしました。</p> <p>2点目として、前回の会議でご指摘いただきました箇所、1頁目の下段、2の(3)</p>

	<p>の表題部分と、3頁目の中段、3の(3)の表題の部分について、「資源化推進」を「3R推進」に変更しました。</p> <p>3点目として同じく、前回、店頭回収について、ご指摘をいただきましたので、3の(3)の中グロの2項目目に、「小売店での資源物の店頭回収の働きかけ」を追加するとともに、その下の3項目目にも、「店頭回収」について、追加しました。</p> <p>4点目として、2の(5)家庭ごみ有料化・戸別収集への移行について、前回より少し踏み込んだ内容に、修正及び加筆をしました。</p> <p>具体的には、1段落目の「ごみ焼却施設を始めとする廃棄物処理施設の整備を迎えるに当たり、3Rの推進、とりわけごみの減量は、重要度を増している。」を追加し、2段落目の4行目、当初、「実施スケジュールに沿って」を「平成31年度での実施に向けて」に変更し、「市としての体制を整えた上で、」を追加しました。</p> <p>さらに、3段落目以降、「また、実施内容については、検討の段階の出来る限り早期から、廃棄物減量等推進審議会を始めとして、広く市民や関係者の意見を聞き、より良いものとする。」</p> <p>「戸別収集への移行については、3市共同資源物処理施設及び不燃・粗大ごみ処理施設の整備と関連して必要となる分別変更などを合わせて実施することが、市民の理解を得られやすい。その場合は、変更の内容が多岐にも渡ることとなるため、収集業者その他の関係者との十分な調整と、市民への十分な説明を行って、円滑な移行を図ること。」を追加しました。</p> <p>以上が変更点となります。</p>
会長	<p>説明は終わりましたが、ご意見などあればお出してください。</p> <p>*** 意見なし ***</p>
	<p>それでは、答申内容は、資料のとおりでよろしいでしょうか。</p> <p>*** 異議なし ***</p>
	<p>本日の議事については、以上とさせていただきます。</p> <p>続いて、次第の「3 事務報告」に移ります。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>***** 資料3 事務局からの報告事項により説明 *****</p>
会長	<p>ただいま報告のあった件について、ご質問などはございますか。</p>
委員	<p>平成28年度の食物資源循環モデル事業について、13,235千円とありますが、その内訳について伺います。この事業は、他の資源化に比べ、費用がかかると思います。これが答申にもあるように来年度以降も実施されると読み取ったのですが、このようにコストのかかる事業をあえてやるのはどうなのかと私は思います。</p>
事務局	<p>まず、収集に係る専用バケツ代、参加者に配っている年2回の堆肥の購入費用、それ以外に水切りネットなどの啓発品で、534千円を需用費として計上しています。それ以外に委託料として、12,701千円の委託料があります。内訳としては、食物資源を収集運搬して業者に搬入する費用が、8,857千円、食物資源の堆肥化にかかる費用が、3,</p>

<p>会長</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>844千円です。 モデル事業については、確かに経費はかかっていますが、参加世帯も毎年増加しています。参加者のみなさまのごみ減量に対する意識は高く、食物資源としての堆肥化も定着してきています。平成29年度以降については、今年度にこれまでに取り組んできた実施状況等を検証することになります。今年度は1000世帯を目標に進めており、これは維持していきたいと考えていますが、予算の関係もあるので、財政部局と調整することになります。</p> <p>いずれにしてもいろいろ検討しなければならないことが多いと思います。これから家庭ごみが有料化になれば参加したい人も増えるだろうし、収集経費は、意外と採算の取れる仕事ではありません。車を1台用意して、収集員を2人配置し、回収に手間もかかります。業者さんがこぞって手を上げるかという、非常に厳しい面があります。 また、再資源化もただではありません。それが高く売れるものなら、ただでも入れてくれるが、そういう面でも非常に難しい事業に取り組んでいます。長い目で評価し、最終的に継続するかしないかを考えていかなければならないと思います。</p> <p>去年何キロくらい生ごみを処理しましたか。</p> <p>平成26年度につきましては47トン、平成27年度については、最終的な実績がまだありませんが、55トン位までは増えるのではないかと思います。</p> <p>それだけの量を回収しているとなると、他のリサイクル事業と比べても、そんなに顕著に費用が高いという訳ではないと思います。</p> <p>学校給食や市役所食堂の残渣などは、乾燥して、業者が堆肥化していますが、乾燥生ごみというのは、資源として売れるような話がありますので、堆肥化だけではなく、別のルートでリサイクルしてみたらどうですか。</p> <p>私共では、情報を掴んでいないので、有償で引き取ってくれる具体的な事例を教えてください。ただ、研究させていただきたいと思います。</p>
<p>会長</p> <p>会長</p> <p>事務局</p> <p>事務局</p> <p>事務局</p>	<p>ここで、いったん休憩をとりまして、午後3時から再開とさせていただきます。 *****休憩*****</p> <p>時間となりましたので、会議を再開いたします。ここから、しばらくの間、進行を事務局に預けます。</p> <p>ただいまから、小平市廃棄物減量等推進審議会によります、第11期答申書手交式を行います。 それでは、審議会を代表いただきまして、藤原会長と所澤副会長から、市長に答申書をお渡しいただきます。 恐れ入りますが、小林市長、藤原会長、所澤副会長、ご起立願います。</p> <p>*** 答申文を読み上げて、手交 ***</p> <p>ありがとうございました。 ここで、市長より、皆様にご挨拶を申し上げます。</p>

市長

あらためまして、小平市長の小林正則でございます。
 本日は、小平市一般廃棄物処理基本計画に定める重点施策の実現について、答申をいただき誠にありがとうございます。
 この間、審議会のみなさまには、重点施策の実現に向けた取組みと合わせまして、新たに整備する小平市リサイクルセンターについて、それぞれのお立場や様々な視点から、具体的なお指摘やご提案をいただきましたことに改めまして御礼申し上げます。
 審議会のみなさまのご協力により、このたび、「小平市リサイクルセンター整備基本計画」を策定することができ、今後、リサイクルセンターの設計及び工事に着手していくこととなります。
 市といたしましては、本日いただきました答申の内容を尊重し、引き続き、3Rを一層推進するとともに、小平市の一般廃棄物処理基本計画における重点施策の実現に向けて、取組んで参りたいと存じますので、よろしく願い申し上げます。

事務局

ありがとうございました。これもちまして、手交式を終わらせていただきます。
 ここからは、進行を会長にお返しいたします。

会長

以上をもちまして、答申書の手交式は終わったわけですが、市長にお時間を取っていただいておりますので、この後は、懇談の時間とさせていただきます。せっかくの機会ですので、答申の内容を含め、みなさまから市長にお話ししたいことなどあれば、ご発言いただければと思います。

青野委員

私は小平市に住み始めて15年になります。小平市では、ごみの分別が大変細やかで資源を無駄にしない取組みが、市民に浸透している事に大変感心しました。これからも住みやすい街になることを期待しているところです。

乙幡委員

有料化を市民の意識に徹底し、実施していくということは、大変な作業です。この会議の中でも何回も議論され、答申にも詳しく盛り込まれています。有料化は市長及び市職員の全面的な協力をお願いし、有料化はやむを得ないというのが私たちの立場です。市民の方々の中でも関心の深い問題なだけに、よろしくお願いします。

小日向委員

こんにちは。商工会を代表しまして、この会議で勉強をさせていただきました。
 商工会は部会が4つ有りまして、いろいろな機会に勉強した事を、話し合いたいと思います。

木村委員

木村です。長い間審議会委員をやっていますので、そろそろ卒業しても良いのかなと思っています。

佐藤委員

佐藤です。小平に20年いますが、小平はどういう市を目指していくのか、何となく見えません。住宅都市のような街を目指すのか、農業の街を目指すのか、よく分かりません。何をを目指すのにしても、小平でなければ出来ないような事をやりたいと思いました。ごみの世界では、有料化していない所が、4つくらいしか残っていないという事ですが、小平だけに出来る、驚くような有料化、例えば、厳しめの規則とかルールを決めてみてはどうかと思います。そうすると、市民のマナーも、変わっていくのではないかと思います。

高杉委員

小平市清掃事業協同組合の理事長をしております高杉と申します。
 事業者の立場から申しますと、我々の車が、日々100台以上市内を走っています。安

心安全を第一に、事故を起こさないよう、運転しています。みなさま方の知見を聞かせていただき、改めて襟を正すという思いを持ちました。今後もよろしくご支援ください。

滝沢委員

滝沢でございます。今年の正月の話ですが、ごみの収集が無くて、マンションやアパートのごみがものすごく溜まっていて、愕然としました。最近はマナーの悪さをすごく感じています。有料化や戸別収集にしても、マナー違反がとて多くなるのではないかと危惧しています。

馬場委員

馬場と申します。市長はマラソンを完走されたそうで、おめでとうございます。ただ、ごみの内容に関しては、人間が人間として生きて行く限りは、完走という事はあり得ないと思います。ずっと続く問題だと思しますので、これからも気を引き締めていきたいと思ひます。

林田委員

林田と申します。うちの近所を見ましても、本当に分別が出来ていない人がいまして、本当に困っておりますが、これが戸別収集になると、その人のごみだとすぐに分かるから、良いと思ひます。戸別収集は必要だと思ひます。

福田委員

福田と申します。東多摩再資源化事業協同組合から代表として来させていただいております。ぜひ、この場を借りてお話をさせていただきます。熊本の震災で何か出来る事は無いかと考えております。市などに支援の要請があれば、組合として協力させていただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

松本委員

松本と申します。
一年間、大変お世話になりました。住まいがごみの焼却場が近いものですから、ごみの減量推進には、関心を持っておりました。でも、結局ごみのことは、その人の生き方が反映するのではないかと思ひますので、そこをいかに広報したら良いのかという事になります。有料化と戸別収集に向けて、誰もが意識を高めてもらいたいと思ひます。

山崎委員

山崎と申します。
私は新しく整備された地区に住んでいて、自分達が一所懸命に分別をしても、集積所に不法投棄が多く、カラスに散らかされて、とても腹立たしいので、戸別収集と有料化に賛成です。子供達が大きくなった時に、住みやすい小平市であって欲しいと思ひます。

山脇委員

環境の会に所属している山脇です。
小平市リサイクルセンターを始め、3市共同資源化施設、不燃粗大ごみ施設、焼却施設の更新にかなりの経費がかかると思ひます。一方で、人口減少での財政縮小という事が目に見えてくる訳です。ごみ減量だけではなく、いかにしてコストを下げていくかというのがこれからの問題だと思ひます。また、男女共同参画ということで、資源循環課の女性の職員を増やしてほしいと思ひます。

渡辺委員

渡辺と申します。ごみの研究者です。清掃部門というのは、災害が起きた時にいろいろと出来る事があります。あるいは、高齢化社会では福祉的な事も出来ます。単にごみとリサイクルだけをやる訳ではないと認識していただけたらと思ひます。
また、有料化は手段であって、目的ではないと思ひます。市民に対して協力を求める時も、他の多摩地区の自治体でやっているから、自分の所でもやらなくちゃいけないという言い方では説得力がないと思ひます。
結局、多くの人達のごみを減らすのにどうしたら良いか考えて、皆で合意の上で有料化

をやるという風に持って行かないといけないと思います。

所澤副会長

所澤と申します。この審議会の委員をして、良かった事が二つあります。一つ目は、小平市の3Rの実際をいろいろ学べたこと。二つ目は、資源循環課の方々の協力で小学校で3Rの授業ができたことです。
一つ気になっている事があります。パッカー車の音楽は、乙女の祈りという曲だと思いますが、小平市が独自に曲を作るほうがよいのではないかと思います。

藤原会長

私たちも高齢になってくると、あまり細かい分別は守れなくなります。有料化はその辺を注意して計画を立てていかななくてはいけないし、年金暮らしの人とか保護されている人とか、有料袋が買えない人もいますから、検討しなければいけない事が非常に多いです。市民にごみを減らす努力をしてもらえるかは、市の体制と努力にかかっている訳です。有料化の事前準備には相当の人数が必要ですので、どの市でも一時的に職員を増やし、運用が安定したら、また元に戻すというやり方をしていますから、市長に配慮をお願いしたいと思います。

委員

小平市リサイクルセンターの整備計画については、まだ柔軟な対応が出来るのでしょうか。

事務局

配置図などとしては、こんな形でやりたいですという大枠を作り、基本計画という形になっています。細かい所については、今年度、様々な調査・計画・企画をいたします。具体的な計画となった段階で、委員のみなさまの意見を落とし込んで、みなさまから愛される施設を作っていこうと考えています。

委員

ごみ減量推進に役立つ、それを市民に啓発するような施設を作っていただきたいと思います。

会長

そろそろお時間でございますので、市長との懇談はここまでとさせていただきます。
ここで、会議を閉じさせていただきますが、終わりに当たりまして、市長からご挨拶をいただければと思います。

市長

第11期廃棄物減量等推進審議会委員のみなさまにおかれましては、2年間にわたり、ご審議いただき、誠にありがとうございました。
答申にもございましたが、市では、今後、10年間で、小平市リサイクルセンターの更新をはじめ、3市共同資源物処理施設、不燃・粗大ごみ処理施設、ごみ焼却施設の4つの処理施設の整備をしていく、重要な時期を迎えることとなります。また、多摩地域の現状から、最終処分場の延命化も重要な課題となっております。
そのためには、小平市においても、廃棄物の減量を進めていく必要があります。それには、市民のみなさまにとって、大きな影響を及ぼす、家庭ごみの有料化と戸別収集への移行などの検討も進めていく必要があると考えております。
市の今後の施策を進めていく上では、みなさまからのご意見などをいただく場であるこの審議会は、大変、重要な役割を担っているうえ、将来にわたって、継続した取組がもっとも重要であると感じております。
今回、第11期の皆様からいただきました貴重な答申を踏まえ、新たに立ち上げます、次期、第12期の審議会において、ご審議をいただきながら、市の廃棄物行政の充実を図ってまいります。
結びといたしまして、みなさまにおかれましては、ますますのご健勝を祈念いたします

とともに、当市の廃棄物の減量及び処理事業を始め、市政全般にわたりますて、引き続きご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます、閉会に当たりますてのご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

会長

ありがとうございました。

それでは、これもちまして、第11期小平市廃棄物減量等推進審議会を終了いたします。審議会委員のみなさまには、2年間にわたりお疲れ様でした。